

海外駐在員に必要な3つのマネジメント

文化、価値観、商習慣、労務事情等が全く異なる外国で仕事をし生活するために。



中外製薬(株) 人事部 人事推進グループ
副部長 **坂部 隆**
(日外協 前 専務理事)

小さな組織で多くのことを

2021年6月から2025年6月まで日本在外企業協会(日外協)の専務理事を務めさせていただいた。初日から数週間は日外協の具体的な取り組みや活動の理解に時間を費やした。情報の収集力と発信力、会員企業を含むステークホルダーの巻き込み、ネットワークの活用など、日外協は小さな組織で多くのことをこなしている。中でも特に驚いたものの一つが、小職が合計13年3カ国の海外駐在で身をもって経験し、学び、蓄積した海外駐在員にとって大切な3つのマネジメントを、日外協が講演会やセミナー、出版物などを通じて惜しみなく提供している点である。

海外駐在員に必要な3つのマネジメントとは、①ビジネスマネジメント、②セルフマネジメント、③ファミリーマネジメント。新しく海外赴任をされる方にとっては、事前に知っておいて決して損はしない、というよりも知っておくべきものであり、海外駐在員の対応をされている本社部門の方々も押さえておくべき内容である。

①ビジネスマネジメント

経営資源を効率的に活用し成果を上げるために、特に外国で仕事をし生活する海外駐在員は、日本とは全く異なる文化、価値観、商習慣、労務事情等を知り、理解し、受け入れることが重

要である。日外協の「海外赴任前セミナー」「国際派遣前セミナー」は、それらをしっかり会得できる。その他にも国際人事センターが開催する講演会、セミナーでは、中国をはじめアジア諸国の最新情報や労務管理に関する情報が入手できる。

また、日外協が出版する『海外派遣者ハンドブック』には、すでに駐在されている方々や当地の専門家による業務遂行のノウハウや労務管理等の成功事例、もしくは失敗事例のケーススタディーが数多く掲載されている。このハンドブックは日外協オリジナルで必見である。こうした情報を事前に知っておくことは、赴任後のビジネスマネジメントに大いに役立つことだろう。



②セルフマネジメント

赴任後に必要なのがセルフマネジメント、日本とは勝手の違う海外での生活と仕事のパターンを早く確立することだ。仕事でもプライベートでも相談できる人、気軽に話ができる人、週末のリフレッシュの方法などを早く見つけることが重要である。自分の体調、メンタル状況に敏感になるなど自己健康管理にも日本にいるとき以上に気を付けたい。